

## 請願第1号

安全保障法制（関連法案）に反対し、憲法第9条を守り日本の平和を守ることを求める意見書提出に関する請願

### 1 趣 旨

安全保障法制（関連法案）は、自民党政権自身が、憲法第9条のもとでは禁じてきた戦闘地域における軍事行動に、自衛隊が参加できるようにするなど、従来課せられてきた自衛隊の海外派兵の歯どめを取り払うものである。自衛隊が戦闘地域で米軍を支援し、殺し、殺されることになる。任務遂行のために武器使用、弾薬輸送、戦闘機への給油も可能となる。重大なことは、日本が武力行使を受けていないにもかかわらず、米軍の戦争に参戦する集団的自衛権を発動する体制をつくろうとすることである。戦後70年を迎えた今、平和と民主主義を守るかどうか、日本の命運を左右する岐路に立っている。戦後一貫して、海外の戦争に一発の弾丸も打たず、一人の戦死者も出さず、一人も殺さなかったからこそ、日本は世界で信頼を得てきた。

今まさに、安倍内閣が今国会に提案を予定している安全保障法制（関連法案）に反対するとともに、憲法第9条を守り日本の平和を守るために大切な時期を迎えている。

以上の理由から、地方自治法第99条に基づき、国に対し、下記事項についての意見書を提出するよう請願する。

### 記

安倍内閣が今国会に提案を予定している安全保障法制（関連法案）に反対するとともに、憲法第9条を守り日本の平和を守ること

### 2 提 出 者

憲法の改悪に反対し、九条を守る福井県共同センター 代表 松原信也

### 3 紹 介 議 員

佐藤正雄

### 4 受 理 年 月 日

平成27年5月8日